

平成29年度事業計画

1. 防錆に関する調査研究を行う事業

1.1 防錆防食材料部会

防錆防食材料部会（部会長 スギムラ化学工業(株) 川地秀一殿）は、正会員のなか、防錆油剤、気化性防錆材料、ペトロラタム系防食テープ、自動車用ケミカル用品の生産者、取扱者で組織する会で、それぞれ防錆油分科会、気化性防錆材料分科会、被覆防食材料分科会、自動車用化学製品分科会の4分科会で構成されている。

各分科会の専門分野に関連する調査研究を実施すると共に、各分科会に共通するテーマの技術講演会を開催したい。

1.2 溶射部会

溶射部会（部会長 芝浦工業大学 植松 進殿）は、防錆防食溶射の施工技術並びに皮膜品質の向上を図ることを目的に活動するとともに、1986年（昭和61年）に開始した溶射鋼管の暴露試験を継続し、31年目を迎える溶射鋼管及び13年目を迎える補修溶射鋼管についても試験を継続し、経過観察を行いたい。

また、講師を招いて溶射皮膜の評価法、施工事例などのセミナーを企画、開催したい。

1.3 腐食コスト調査研究

公益社団法人腐食防食学会と共同で設立した腐食コスト調査委員会(委員長 篠原 正)を平成29年度に本格稼働させ、調査事業を実施したい。

委員会には、当協会から羽田隆司会長、大野 茂殿（元日本大学）、田尻勝紀殿（元当協会職員）並びに齊藤 宏専務理事を派遣したい。

なお、分野別調査結果は平成31年3月までにまとめ、調査報告書案を平成31年5月に完成させる計画である。

2. 防錆に関する技術者の養成を行う事業

2.1 防錆技術学校

防錆防食専門技術者を養成するため、通信教育「第57回防錆技術学校」を経済産業省、国土交通省、日本商工会議所の後援を得て実施したい。

教育の内容は、専門分野別に施設防食科、防錆塗装科、防錆塗装科別科、めっき科、防錆包装科の5科で構成し、講師には産学官界より有識者79名を迎えて開講したい。

教育日程は、以下のとおり実施したい。

(1) 通信教育

共通課程 平成29年4月～平成29年9月

専攻課程 平成29年6月～平成30年2月

(2) 学習指導

東京会場 平成29年5月10日

大阪会場 平成29年5月12日

(3) 面接講義

大阪会場 平成29年 9月7～8日

東京会場 平成29年10月5～6日

(4) 筆記試験

大阪会場 平成29年 9月7日

東京会場 平成29年10月5日

(5) 認定論文 平成29年11月～平成30年1月

(6) 修業式 平成30年3月9日

学習教材の改訂は、引き続き、専攻課程、基礎課程ともに推進したい。

2.2 防錆管理士会

防錆管理士に認定された方々で組織する防錆管理士会(会長 元日本大学 大野 茂殿、幹事長 榊竹中工務店 長谷川 完殿)は、東日本、東海、西日本、九州、沖縄の5支部で、講演会、見学会等の行事を開催しており、引き続き平成29年度も計13回の行事を実施したい。また、防錆管理士会総会を東京において開催したい。

3. 防錆に関する日本工業規格及び国際規格の制定及び普及に協力する事業

3.1 国際規格

1993年(平成5年)より継続して実施しているISO(国際標準化機構)/TC(専門委員会)35(ペイント及びワニス)/SC(分科会)12(塗料・関連製品施工前の鋼材の素地調整)にかかわる国際規格に対応するため、ブラスト処理用非金属系研削材の国際標準開発として補助を受け、5月にオランダで開催される国際会議に2人を派遣してISO規格の変更を提言すると共に、ISO回答原案を作成したい。

3.2 日本工業規格

平成28年12月から一般財団法人日本規格協会の協力を得て実施している「JIS K 2246(さび止め油)改正原案作成委員会(委員長 日本大学 竹島正博殿)は、引き続き平成29年度も委員会を開催し、平成29年10月末の期限内にJIS原案を答申したい。

また、一般財団法人日本規格協会並びに関係団体が主催する防錆技術に係わる標準化委員会に委員を派遣するほか、経済産業省の指導により防錆包装関係JIS規格の整備につとめたい。

4. 防錆に関する参考図書及び資料を作成し、又はこれらを配布する事業

4.1 機関誌「防錆管理」

機関誌「防錆管理」は、有識者と各専門部会の代表並びに支部の代表で構成する編集委員会(委員長 江成孝文殿)の企画編集により、第718号から第729号まで毎月発行し、防錆防食の専門分野ごとの記事と「連載解説」、「講座」、「防錆防食文献リスト」、「見学記」を掲載するなど、我が国の防錆技術向上に資する技術誌を発行したい。

月刊技術誌「防錆管理」は、国公立研究機関、公設図書館、関係学協会など100を超える機関に無償配布し、防錆技術の啓蒙活動に役立てたい。

4.2 書籍販売

機関誌「防錆管理」に連載した講座を再編集して出版するほか、既存の出版物の拡販に努めたい。

5. 防錆に関する文献、資料及び情報の収集整理を行い、これを閲覧に供する事業

5.1 防錆防食技術発表大会

防錆防食技術発表大会実行委員会（委員長 九州大学 濱田秀則殿、副委員長 日鉄住金防蝕㈱ 原田佳幸殿）を組織し、平成29年7月5日、6日の二日間、東京・お茶の水「東京ガーデンパレス」において「第37回防錆防食技術発表大会」を開催したい。

一般発表、特別講演2件、「いまさら聞けない用語」解説のほか、事例発表を集め、生産技術、メンテナンス、新施工法などの幅広い内容で、研究者・技術者に対し、発表・聴講の場を提供し、広く防錆防食技術の発展普及に努めたい。

広報は、ダイレクトメール、ホームページ並びに機関誌の会告欄を通じて広範な分野の技術者、研究者に通知するほか、37の関係団体の協賛を得て各団体を通じての広報にも努めたい。

また、若手技術者の発表を審査・選考し、「若手技術者優秀発表賞」を授与し、技術者の育成に貢献したい。

5.2 インターネットによる情報の提供

ホームページ (<http://www.jacc1.or.jp>) を通じて、引き続き以下の情報を提供し、情報公開、会員サービスを行いたい。

(1) 事業報告、収支決算書及び事業計画、収支予算書

(2) 協会事業

①防錆技術学校の案内

②防錆防食技術発表大会の案内

③講演会、見学会など行事の案内

④出版物の案内

⑤防錆管理士資格者の所在不明者調査

⑥その他

6. 防錆に関する参考材料の展示を行う事業

第37回防錆防食技術発表大会において、新製品・施工技術の紹介を行うセッションを設けるとともにカタログコーナーを設置し、会員をはじめとする企業の製品、技術の最新情報を大会来場者に提供したい。また、各種展示会においても相談の後、出展したい。

7. 防錆に関する技術相談を行う事業並びに研究の受託及び委託を行う事業

会員からの防錆防食に関する試験依頼を受託し、これに応えたい。また、会員からの技術相談にも応じたい。

8. 防錆に関する技術向上のための発明、研究に対し顕彰を行う事業

次の各賞ほかに、会員から候補を募り推薦したい。

(1) 一般財団法人 機械振興協会（新機械振興賞）

(2) 公益財団法人 スガウェザリング技術振興財団（スガウェザリング技術振興財団表彰）

(3) その他

9. 防錆に関する事項について国会、政府その他に対し意見を開陳する事業

「公共建築工事標準仕様書」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）ほかの仕様書並びに指針の改正に際し、政府関係機関から改正意見を求められた場合、これに応えたい。

その他必要に応じ、防錆技術に関する意見を政府その他の機関に対し、開陳してゆきたい。

10. 本会の目的を達成するために必要な事業

10.1 支部事業

中部支部、関西支部、沖縄支部の3支部がそれぞれの地域の特徴を生かし、各支部の総会で議決された事業計画に基づき、講演会、講習会、見学会などの各種事業を実施したい。

10.2 関係学協会との協力事業

- (1) 関係学協会が主催する防錆防食技術関連の行事を協賛又は共催し、広く産業技術の発展に寄与したい。
- (2) 関係学協会が主催する委員会等に役職員を派遣して協力したい。